



前田農産食品株式会社

本別町



代表 前田 茂雄 さん

今春スタートのNHK連続テレビ小説「なつぞら」は十勝が舞台。ドラマにも十勝の雄大な自然が登場しています。豊かな大地で育まれた開拓者精神を活かし輝く、十勝の生産者をクローズアップしました。

「なつぞら」の舞台で話題の十勝から

### 開拓者の想いと共に消費者とシェアする地域農業を

「先人たちのように、まちや農業を誇りに思えるものになりたい」と語るのは、本別町で明治から4代続く農場の前田さん。「昔の人は本当に偉大です。巨木や身の丈を越す雑草が生い茂る大地を切り開き、畑や学校、神社を作ってきた。農業はまちづくりの一貫であり、その中心でもあったのです。」  
前田さんは先人たちの想いを受け継ぎながら、時代の変化に合わせて農業を目指しています。「消費者とシェアする地域農業」はそのひとつ。観光や食育を含めた「食と農を楽しむ場所」を作ること、消費者はより農業が身近に。楽しむ人々の笑顔を見ることが、生産者はより農業を誇りに思うようになります。「地域農業を持続可能なものにするためには、農業を支える未来の人材づくりが大切。新たな変化を起こすことも、私たちの使命だと考えています。」

# 開拓者の気持ちで攻めて守る。

### 顔が見える小麦粉で畑と食卓、人をつなぐ



### ポップコーンで子供たちの笑顔もはじかせたい



「少量多品種の小麦の生産にも力を入れています。様々なパンを作るパン屋さんは、種類によって小麦粉を使い分けています。土づくりから見守ってきた生産者だからこそ伝えられる情報がある。畑から様々な品種があることを伝えられれば、より豊かな食の提案につながると思います。それは消費者とつながることも。自前で乾燥選別ラインを整備するのは大変でしたが、ニーズに応える小麦づくりをやってみよう」と。

2009年、北海道が主体となり「麦子エン」事業を開始。その年の「十勝ベーカリーキャンプ」がきっかけで、多くのパン職人が小麦畑を訪れるようになりました。「小麦は育種、生産、集荷、製粉、加工、消費とパトナリレーの作物。各者間のコミュニケーション（会話）が大事なんです。」



前田さんは、自分の代で何か違う作物にもチャレンジしたいと、2013年に国内では珍しいポップコーンの栽培と商品開発を開始しました。選んだ理由は、「はじける美味しさと楽しさを畑から子どもたちへ届かせたい」と思ったから。また、栽培、加工、販売までを自社で行うことで、悩みだった農閑期も雇用を維持できるメリットもありました。デリケートな作物ゆえ1年目は14t全量を廃棄。3年試行錯誤を繰り返した結果、2016年ついに日本初の電子レンジで簡単にできる「北海道十勝ポップコーン」黄金のとうもろこし畑から」が完成。翌年には、北海道食品加工コンクールで最高位の北海道知事賞を受賞しています。

開拓者精神を受け継ぎ未来の農業と地域づくりに熱いハートを燃やす前田さん。「畑を通じて人と出会い、農業のファンを増やしていきたい」と語ってくれました。

前田農産食品株式会社  
本別町弥生町27  
TEL: 0156-22-8680  
https://www.co-mugi.jp

## Observation Deck 四季折々の畑のパッチワークを一望できる「十勝が丘展望台」

音更町十勝川温泉北14丁目4  
TEL 0155-32-6633(音更町十勝川温泉観光協会)  
●常時開放/無料  
http://www.tokachigawa.net/sightseeing/tokachigaoka.html



行ってみよう!

### 農業の楽しさをシェア

前田さんは多くの人に地域の農業を知ってもらうため、農業と食を盛り上げるイベントの開催にも力を入れて取り組んできました。その一部をご紹介します。



2012年  
ミステリーサークル  
十勝産小麦の「ゆめちから」を多くの人に知ってもらいたい思いから、小麦畑にミステリーサークルを作ったことも。メディアでも話題になりました。



2012年  
日本一長い111mピザ  
本別町開町111年のお祝いに、地元の食材を使って皆が参加できるイベントを企画。当日は400人近い人が集まり、日本一長いピザを作って食べました。



2019年夏  
ひまわり迷路を計画中  
今年、開拓から120年を迎えた前田農産では、夏のひまわり迷路を計画中。お父さんの芳雄さんはトウモロコシ3万坪迷路をけん引したメンバーの一人。



編集者から

胆振東部地震後、スーパー等で乳製品が品薄となり、多くの消費者の方々から心配や応援の声をいただきました。災害に強い農業づくりをしっかりと進めていかなければと改めて実感しました。



読者から

2018年秋号へのお便り

たくさんの方に農業を知っていただきたいと願います。地震の時の酪農家の方々の苦しみは本当に大変だったと思います。乳牛のつらさに涙が出ました。どうぞ復興のため頑張ってください。農業の発展は人類の要です。(北広島市 60代女性)